

おかげさまで当社は2012年3月、東京証券取引所第一部へ上場いたしました

当社グループの主な出来事を、売上高の推移と対比してご紹介いたします。

■ 当社売上高の推移と主な出来事

- 1958年(昭和33年)3月
会社創立
食用油脂の販売
- 1961年(昭和36年)9月
業務用サラダ向け「ケンコーマヨネーズAS」の製造販売を開始
- 1966年(昭和41年)6月
ケンコーマヨネーズ株式会社に商号変更
マヨネーズ・ドレッシング類を事業の基盤として事業展開



一斗缶入
業務用マヨネーズ

ケンコーマヨネーズAS
(61年)

- 1977年(昭和52年)10月
業界初のロングライフサラダ「ファッションデリカフーズ®」発売



ファッションデリカフーズ®(77年)

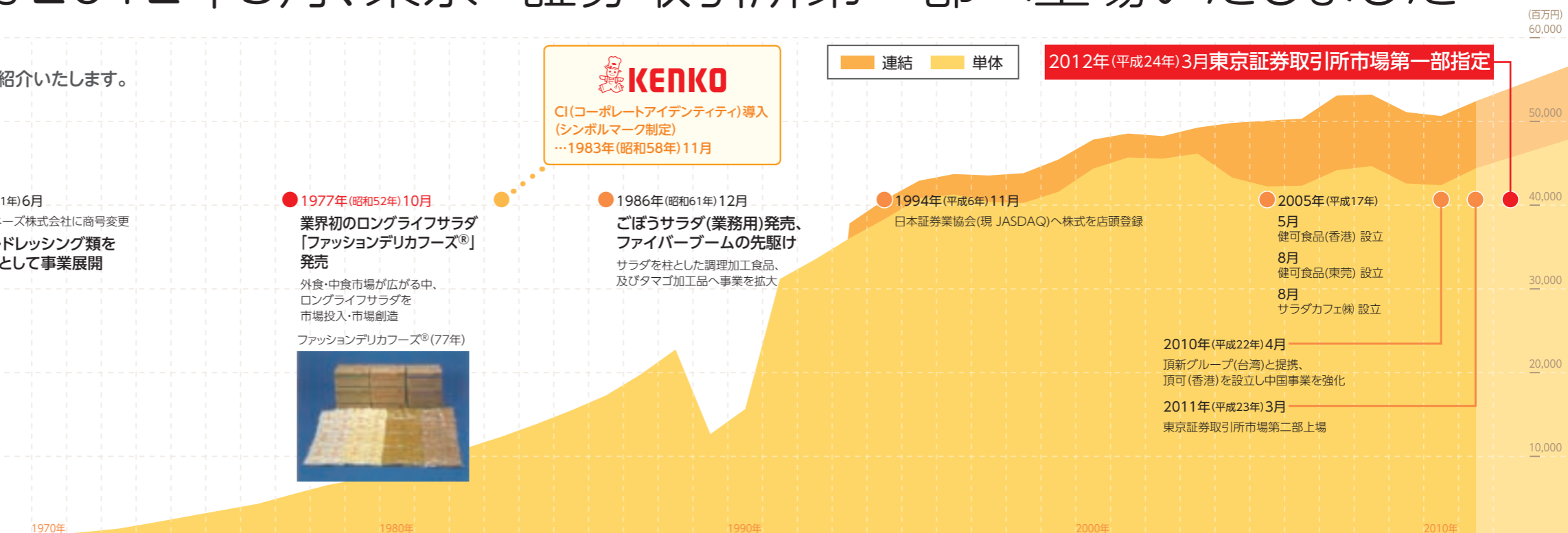
KENKO
CI(コーポレートアイデンティティ)導入
(シンボルマーク制定)
…1983年(昭和58年)11月

- 1986年(昭和61年)12月
ごぼうサラダ(業務用)発売、
ファイバーブームの先駆け

サラダを柱とした調理加工食品、
及びタマゴ加工品へ事業を拡大

● 連結 ● 単体

2012年(平成24年)3月東京証券取引所市場第一部指定



※ 1958～1989年までは2月決算です。 ※ 1990年は8月決算です。



ごあいさつ

平素より格別のご高配を賜り、株主の皆様ならびに投資家の皆様に厚く御礼申し上げます。
当社の第55期通期決算の概要がまとまりましたので、ここにご報告させていただきます。
また、当社は2012年3月に東証二部から東証一部への上場を果たしましたので、併せてご報告いたします。
今後も株主の皆様をはじめとするステークホルダーの方々からの期待にお応えすべく尽力しますので、引き続きご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 **岩井孝志**

Q. 東証一部への上場とこれまでの歩み、ケンコーマヨネーズの強みについて

A. 念願の一部上場を達成し、当社ならではの強みを生かしてさらなる成長を目指します。

2011年3月24日、当社は東京証券取引所市場の第二部に上場いたしました。それから約1年後の2012年3月30日には同市場の第一部銘柄に指定されました。これもひとえに、株主・投資家の皆様やお取引先をはじめとするあらゆるステークホルダーの方々からの温かいご支援の賜物であり、ここに厚く御礼申し上げます。

今後も当社グループの企業理念である「食を通じて世の中に貢献すること」にしっかりと注力しますので、引き続きご理解とご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

当社は業務用のマヨネーズ・ドレッシング類を基盤として、外食・中食市場の成長を背景にロングライフサラダを中心とした調理加工食品へと事業領域の拡大を行ってきました。

競争の激しい業務用の業界では「商品開発力」「製造力」「販売力」の三つ全てがそろって初めて力が発揮されます。当社は三つの力を高めていくことによって、業務用食品メーカーとして確固たる地位を築いてきました。

現在の当社の事業の中核は「サラダ」であり、同分野のパイオニアとしてつねに市場のニーズを先取りする高付価値製品を生み出し続けてきました。業務用メーカーとして幅広い需要に応えてきた研究開発力や豊富な商品ラインアップ、素材への徹底的なこだわりが当社の大きな強みとなっています。

今、当社はグループ全体で「サラダが主役、サラダが主食、サラダが食卓の王様」を標榜する事業を展開しており、①高い開発力を誇るメーカー機能、②グループ企業(7社)の総菜機能、③サラダカフェの直販・情報発信機能(14店舗のサラダ販売直営店の運営とWebサイトの展開)の三つを融合させ、グループが一丸となった「三位一体」のビジネスモデルを構築しています。

Q. 「KENKO Victory ROAD」の総括と新たな中期経営計画について

A. 前計画はほぼ計画を達成し、新たな計画でさらなる飛躍を目指します。

当社グループでは2009年に「時代のどのような変化にも対応できる強靱で柔軟な筋肉質の体制・体質づくりをめざすこと」を10年間の経営指針として掲げ、その道